

令和7年第4回智頭警察署協議会開催状況

開催日時	令和7年12月18日(木)午後3時00分から午後5時00分まで	
開催場所	智頭警察署	
出席者	委員 (定数5人)	沖田会長、米井委員、山根委員、國岡委員、遠藤委員 以上5人
	警察	津中署長、那須管理官、垣田会計課長、来家地域交通課長、 井村生活安全刑事課長 以上5人
議 事 概 要		
<p>1 挨拶</p> <p>(1) 会長挨拶 先月、警察本部で開催された鳥取県警察署協議会代表者会議に出席し、智頭警察署の取組状況を報告した。特に、ひまわりの絆プロジェクトに関する取組について、協議会委員も参加した上、保育園、小学校、中学校などに、このプロジェクトを広め、この活動により智頭警察署管内で発生する交通事故を防止できるように取り組んでいきたい。</p> <p>(2) 署長挨拶 年末年始は、金融機関やコンビニ等を狙った強盗事件や特殊詐欺の発生、豪雪による雪害の発生、重大交通事故の増加等が懸念されることから、現在、当署においては、「年末及び年始における特別警戒取締り」を実施中である。地域住民の方々が穏やかな年末と新年を過ごせるよう、安全・安心の確保に向け、署員が一丸となり、万全を期す所存である。</p> <p>2 ひまわりの絆プロジェクトに関する取組状況 管理官が、ひまわりの絆プロジェクトの概要及び取組状況について説明した。委員からの主な質疑と、それに対する警察の回答は次のとおりであった。 委員：メッセージ性の大きい活動であるが、保育園にも「ひまわりの種」の配布を行っているか。 警察：現在、智頭小学校、河原第一小学校、千代南中学校、智頭農林高等学校に配布している。今後は、プロジェクトの趣旨を説明した上、保育園にも配布し、管内の学校など全てに広めていきたいと考えている。</p> <p>3 管内治安概況説明</p> <p>(1) 犯罪発生状況等 生活安全刑事課長が、管内の犯罪発生状況等について説明した。委員からの主な意見、質疑等とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。 委員：SNS型投資・ロマンス詐欺被害の一番多い年代を教えてください。 警察：40代から60代が一番多い。 委員：コンビニや金融機関を利用される方に対して、どのような特殊詐欺被害防止対策が行われているか。 警察：店員や行員の方に、高額な電子マネーカードの購入者や高額な現金の取引などを行う客に対して、声掛けを励行してもらったり、駐在所員や自動車警ら隊によるコンビニや金融機関の立ち寄りを強化することにより、特殊詐欺の被害に遭わないよう水際対策を実施している。</p>		

委員：刑法犯認知・検挙状況の統計は、どのような計上区分となっているか。
警察：1年毎の統計であり、年内に認知し、翌年に検挙した年を跨ぐ場合の件数の計上については、前年の認知1件、そして翌年に検挙1件の計上となる。

(2) 交通事故発生状況等

地域交通課長が、管内の交通事故発生状況等について説明した。

(3) その他の質疑

委員：今年は、熊に関するニュースが注目されているが、今年11月には、智頭町主催の緊急銃猟訓練が開催された。警察からも訓練参加はあったのか。

警察：当署員も参加した。この種の事案が発生した場合の警察の役割としては、主に住民の避難と交通誘導を実施することである。各関係機関と連携を深める有意義な訓練であった。

4 体験

委員は、生活安全刑事課員の説明を受けながら、現場鑑識を体験した。

5 連絡事項

次回協議会は、令和8年3月頃に開催する予定である。